

にこで ~和手~

2020年秋号 南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 発行



「子どもの貧困」という言葉がテレビ等で聞かれるようになって数年。南区でも子ども食堂に取り組む団体や施設が増え、活動を支えるためのネットワークも作られました。しかし、コロナ禍により支援の必要性・緊急性は益々高まっているものの、感染リスクを避けなければならないということで、休止せざるをえない事態に…。そうしたジレンマの中で注目されているのが、食品を提供する「フードパントリー」という取り組み。南区でも応援の輪が広がっています。

フードバンク浜っ子南 × はぐはぐの樹

フードパントリーイベント

日にち:2020年10月4日(日)

時間:14:00~16:00

会場:はぐはぐの樹 交流スペース

(南区弘明寺町158 弘明寺商店街内セブンイレブンの2階)

対象:子育て中の方で食品の提供を希望する方

申込み:浜っ子南ホームページの

お問い合わせフォームから

<http://www.fbh-minami.org>



新型コロナ感染防止対策として、参加者には時間をずらして受け取って頂けるようご案内します。提供内容としては、いずれも日持ちのする主食、副食、飲み物、菓子類を予定しています。お子さんには景品付きの輪投げゲームがありますのでお楽しみに！

提供を必要としている方、お気軽にお申し込みください。また、提供を必要としている方が周囲にいらしたら、ぜひご案内ください。ご協力よろしくお願いします。



南区の子育てを応援する定番アイテム2つ 今年度版が発行されました！

『南区子育てサークル名簿 2020-2021』の閲覧と

『南区子育て応援マップおひさまだいすき』の配布はこちら



今回の改定では、乳幼児親子が気軽に立ち寄れる場として「おもいやりハウス」「さくらザウルス別所ひろば」の情報、そして新設保育園の情報も入っています。はぐはぐの樹ホームページ、区役所のホームページに電子版もアップされています。

南区役所4階健診会場、赤ちゃん学級、地域の子育てサロン、地域ケアプラザの子育てサロン、はぐはぐの樹、はぐはぐの樹おでかけ広場、さくらザウルス、えの木、M-HOUSE 三春台、ママと子のホッとタイム等

今年度の登録は9サークル。サークルメンバーの皆さんが作成した魅力的なPRは必見！はぐはぐの樹で貸出している布おもちゃの一覧も載っています。

子どもの「預かり」「送迎」の援助をしてくれる人が必要です！

～横浜子育てサポートシステム 提供・両方会員募集中～

横浜子育てサポートシステムは「子どもの預かりや送迎を頼みたい人（利用会員）」と「送迎や預かりができる人（提供会員）」が登録し、援助の内容等に応じて会員同士を紹介するという、地域ぐるみで子育てを応援する有償の支え合い活動です。

提供・両方会員（利用会員と提供会員を兼ねる場合は「両方会員」）として援助活動をするには、3日間の研修を受講する必要があります。市内各地で年間20回ほど開かれています。今年度南区では11月18・19・20日に研修会を行います。近くで受講できるチャンスです！（受講・登録は無料）現在、研修参加者を受け付け中です。

詳しくは、横浜子育てサポートシステム南区支部（はぐはぐの樹内）までお気軽にお問い合わせください。電話：045-731-2291（火曜～土曜9時～17時）

利用会員も募集中！身近な子育て中の方にご紹介ください。



研修会は、乳幼児期・学童期の生活と発達、子どもの健康管理、幼児救急法など、自分の子育て・孫育てや日頃の支援活動にも役に立つ内容です。

“今”だからこそ!! 外遊びのススメ

新型コロナ感染防止のための様々な制約により、知らず知らずのうちに子どもも大人もストレスを溜めていて、子どもの育ちにも少なからぬ影響が出ているようです。

野外で過ごすのに最適なこの季節、感染防止と両立させながら、積極的に外遊びをして心身ともにスッキリさせたいですね。



空き箱やカップ等を使って、こんな入れ物を作ると、“宝物集め”も楽しさ倍増！



子どもの育ちに外遊びが大事なワケ

- ◇ 思い切り体を動かすことができる
- ◇ 五感（視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚）を使って、心と身体がつながっていく
- ◇ 乳幼児期の「探索行動」は好奇心・意欲の源
- ◇ 多様な自然物にふれる体験は脳の前頭前野を活性化させる
- ◇ 寒暖を感じることで自律神経を育てる et c...

（関東学院大学 人間環境学部 土谷みち子先生 講演会記録より）

0～1 歳児向きの外遊び



●なんといってもお散歩！

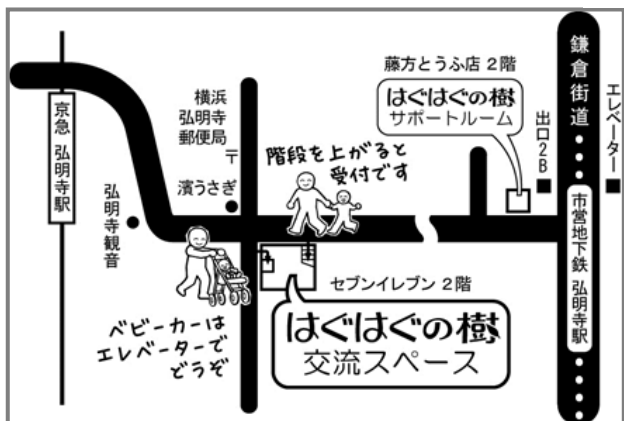
この時期の子どもには戸外そのものが興味深いもの。散歩をしながら、「お花きれいだね」などと話したりするだけで好奇心が満たされます。

●砂遊び、水遊び

砂を掘ったり、器に入れたり、こぼしたり…手先を使いながら、様々な触感を楽しむので良い刺激になります。

●葉っぱ遊び

秋は落ち葉を使った遊びが楽しめます。色々な形や色の落ち葉を集めてみましょう。握ってカサカサした感触を味わうのもいいですね。



『にこで』は年4回発行しています。ぜひ、ご意見やご感想をお寄せください。<<_ _>> はぐはぐの樹インスタグラムで情報発信中！ Follow me!! → → → → → → → →



「にこで～和手～」第33号

【発行】

南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹（サポートルーム）
〒232-0056 南区通町4-115 アイライン弘明寺2階
TEL:720-3655 FAX:715-3815
MAIL: info@haghagnoki.jp